

2035年の人と人とのつながりに対する新たな価値提案

Kikkake Tag

見えない思いを、人と関わるきっかけに。

声かけOK

手伝ってほしい

猫が好き

2035年の人とのつながり



AIが多くの問いに答える

調べものや情報提供は、今より早く、身近になる。



人にしかできない助けが残る

- その場にいる人だから分かること
- 身体を使った手助け
- 相手の状況に合わせた対応

つながる手段は変わっても、誰かを助けたい気持ちは変わらない

PERSONA

ペルソナ



デモグラフィック

野崎 護／男性／45歳
会社員（マネージャー）／東京
既婚・子供1人（高校生）

キャッチフレーズ

「僕にまかせて！」経験を人に渡すことが、自分の成長にもつながる。

ライフゴール

親しい人に、役立てる自分で居続けること

エンドゴール

- ・親しい人とのコミュニケーションを絶やさない
- ・求めていることを察知できるよう気にかける

インサイト／キーファインディングズ

- ・人のために動ける人でありたい

人の役に立ちたいが、 自分から関わるのは得意ではない

周囲から必要とされたい

自分の居場所を感じたい

親しい人との関係を大切に
にする

**知らない人への声かけを
ためらう**

反する2つの気持ちが、今回の提案の出発点。

提案すべき価値とインサイト

人間関係における線引き（感情・モノ・役割）がはっきりしてる人

の

自分から積極的に人と関わることがあまり得意ではない（なので、十分に人の役に立てない・・・？）

を解決する

- ・ 距離感を保った中でも人の困りごとを解決できる
- ・ 積極的に人と関わらずに相手の悩みや困りごとを解決（アドバイス）できる

サービス

INSIGHT

関わりたい気持ちがあっても、 関わる理由が見えない

⚠ 助けが必要か判断できない

⚠ 声をかけてよいか分からない

⚠ 自分に助けられるか分からない

⚠ 相手を困らせるかもしれない

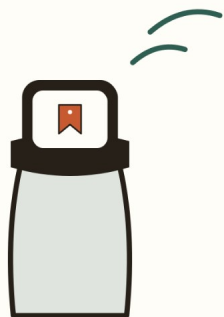
INSIGHT

つながりが欲しいのではなく、関わる理由が欲しい

ABOUT

Kikkake Tagとは

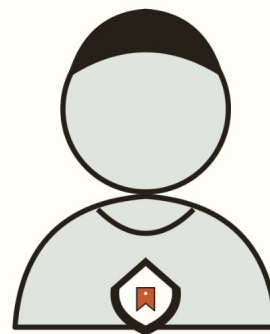
想定されるガジェットのイメージ



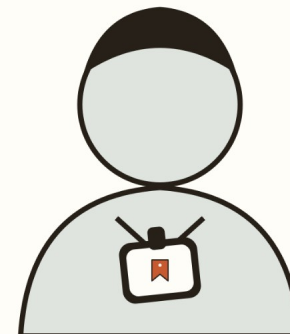
腕時計型



AIサングラス型



ペンダント型

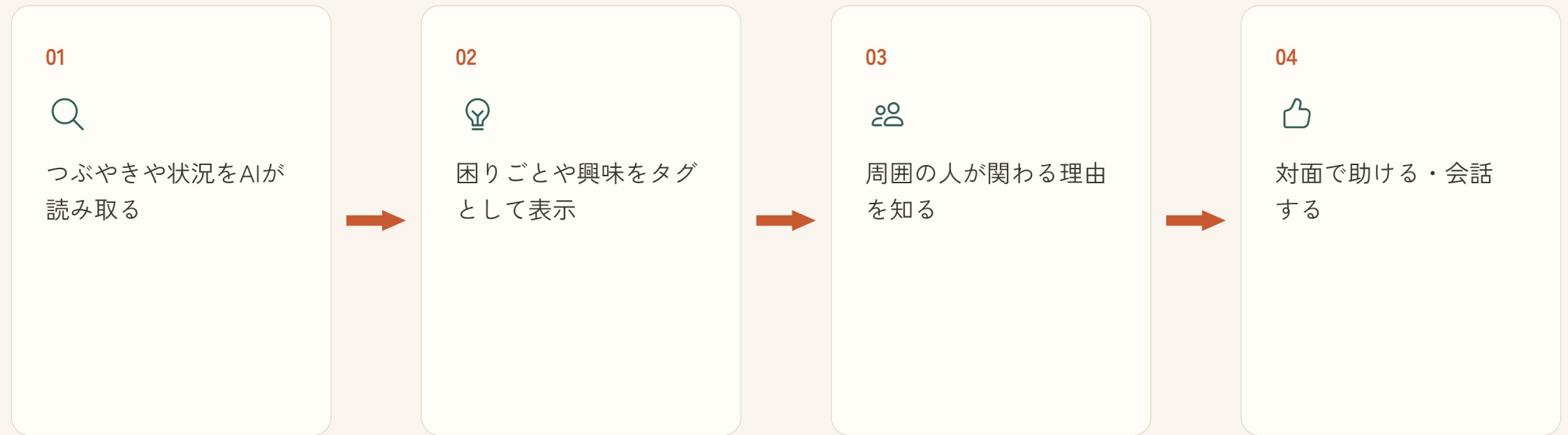


バッジ（クリップ）型

HOW IT WORKS

Kikkake Tagのしくみ

言葉になっていない思いを、AIがタグとして可視化する。



通りすがりの人との交流が生まれる



困ったときに見えるタグ

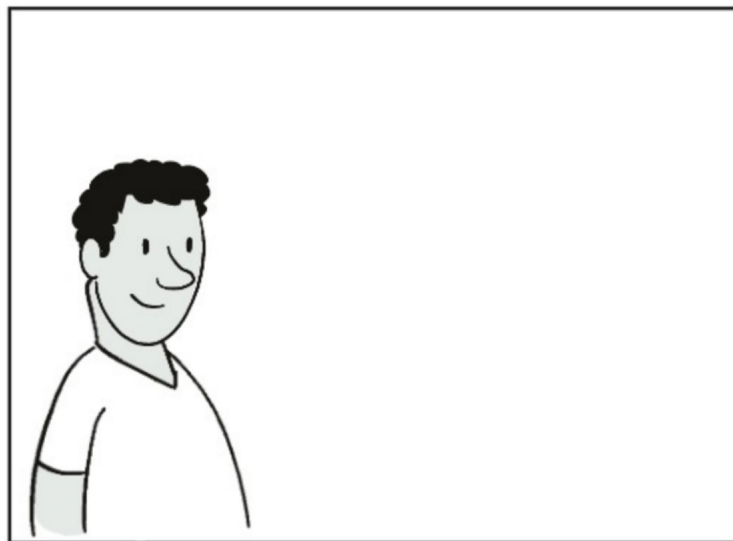
ペルソナは、対象が困っていることと「声かけOK」のタグを確認して、相手に声をかける。

旅行者

限定グッズが欲しい

声かけOK

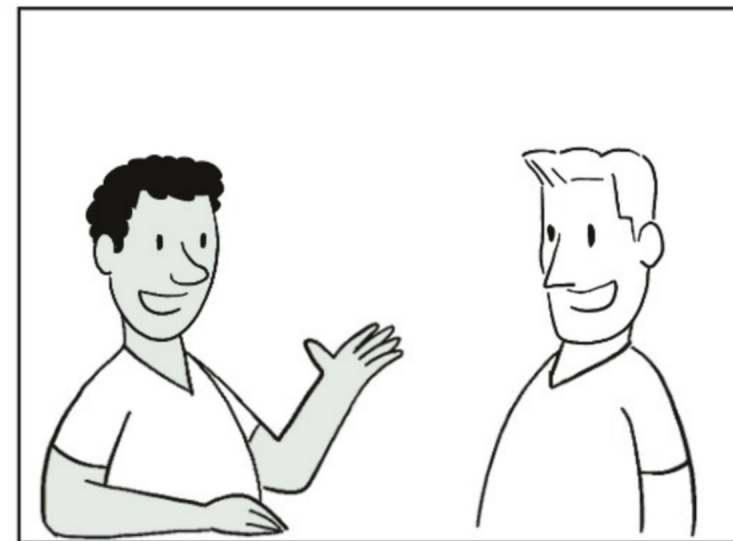
「自分にも助けられる」と分かる



移動中



ガジェットを通して困っているタグが表示されている人を発見する
タグの内容から、声をかけていいか、自分が助けられるかが判断できる



声をかけて手助けをする

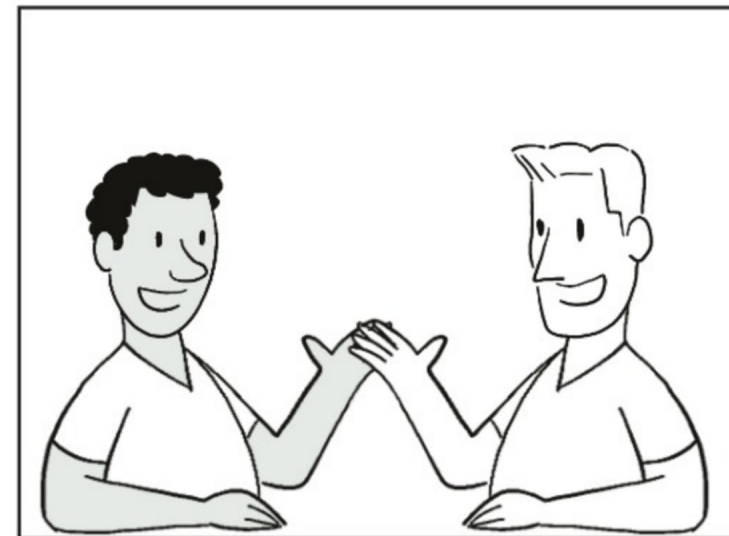
困っていたら助けてもらえる



移動中、自分のやりたいことや困りごとをつぶやくと、タグに自動設定される



タグを見た人が声をかけて助けてくれる



ガジェット同士をタッチすることで、手助けがログに残る

人の役に立てたと実感する場面



タグが「声をかける理由」をつくり、最後の行動は本人が選ぶ

共通点も、人と関わるきっかけになる



美術館で見えるタグ

ペルソナは、自分との共通点と「声かけOK」のタグを確認して、相手に声をかける。

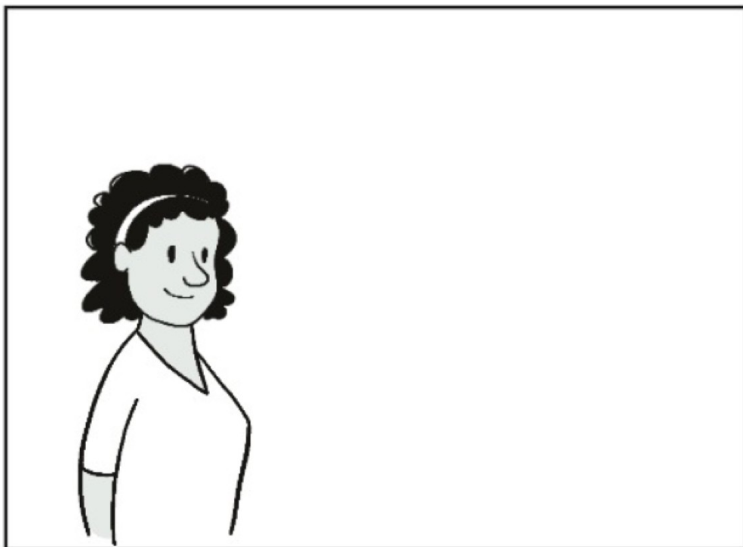
共通の話題が分かることで、最初の会話を始めやすくなる。

美術が好き

旅行が好き

声かけOK

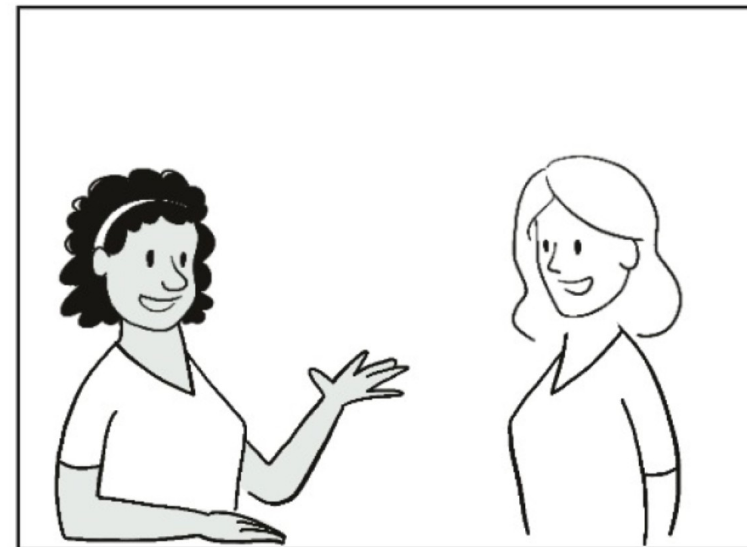
気の合いそうな人に声をかけていいと分かる



美術館に行く



ガジェットを通して趣味が合うタグが表示されている人を発見する
タグの内容から、声をかけていいか、共通の話題がありそうかが判断できる



声をかける

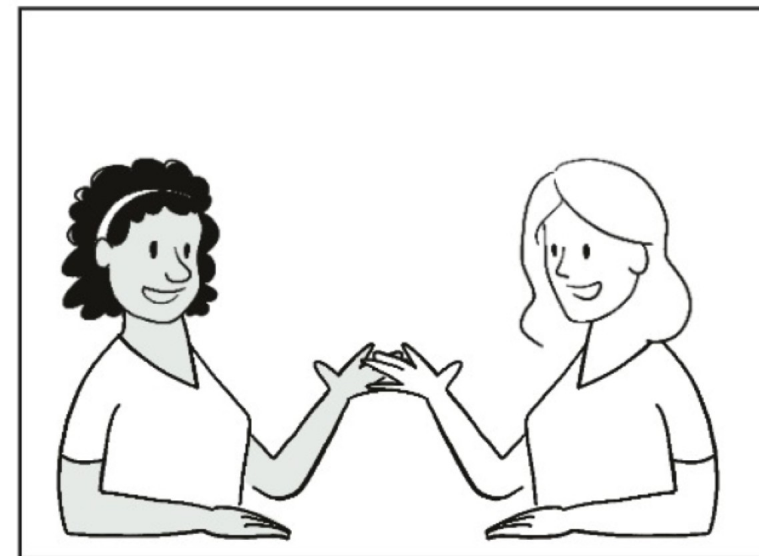
気の合いそうな人から声をかけてもらえる



美術館に行き、自分の趣味や目的をつぶやくと、タグに自動設定される



タグを見た人が声をかけてくれる



ガジェット同士をタッチすることで、交流がログに残る

SUMMARY

役割や共通点から始まる、 2035年のつながり

現在	Kikkake Tagのある未来
声をかけてよいか分からない	相手の意思が分かる
自分に助けられるか分からない	困りごとの内容が分かる
関わる理由がない	役割や共通点が見つかる
行動に移せない	自分から行動を始められる
自分の役割を感じにくい	人の役に立てたと実感できる

Kikkake Tagが可視化するのは、人と人が関わるための「きっかけ」